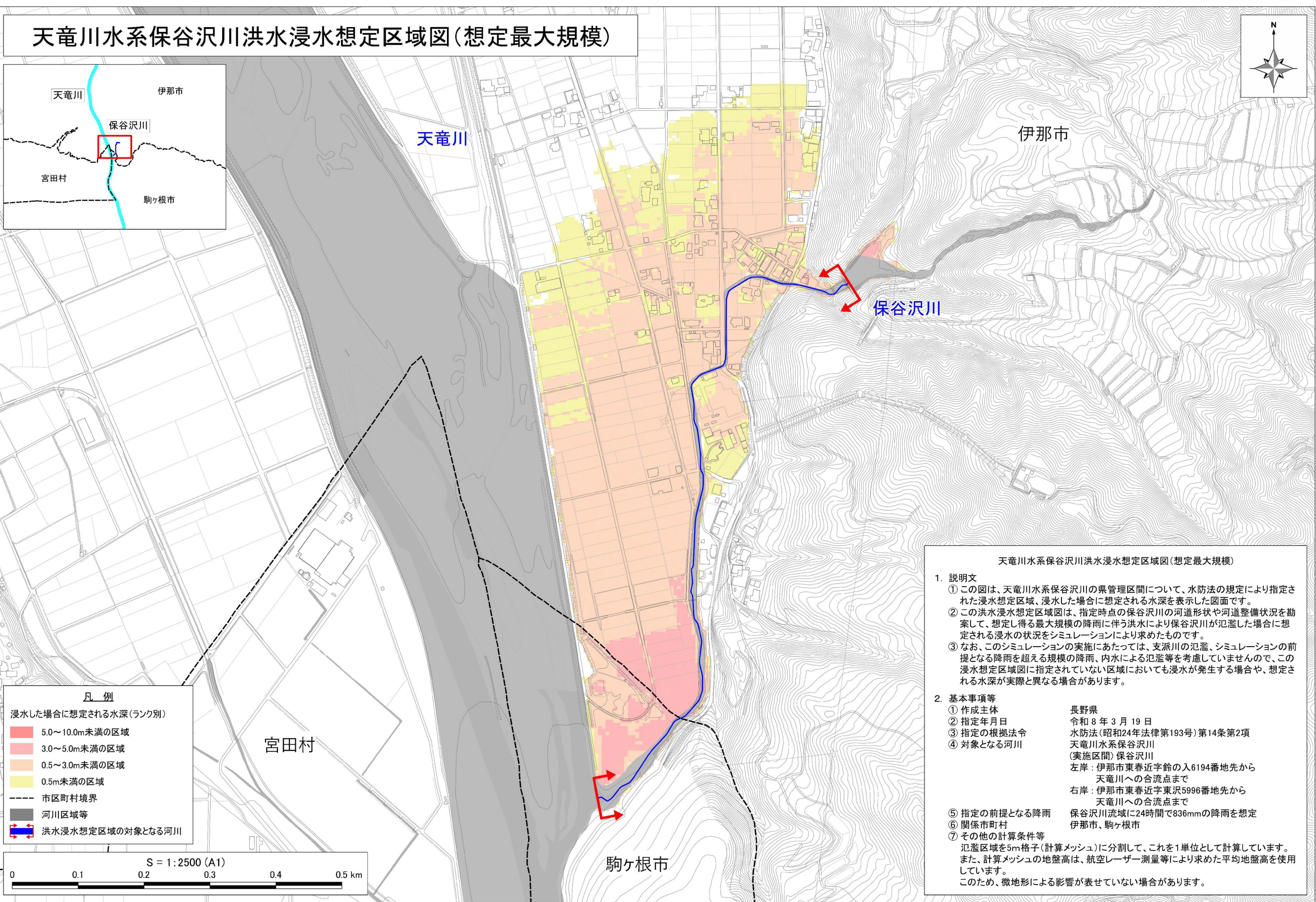
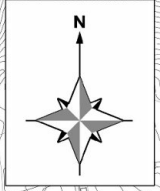


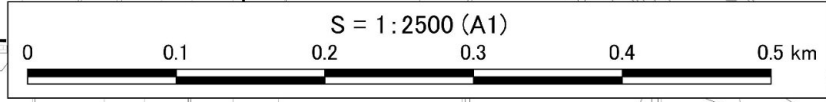
天竜川水系保谷沢川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

■	5.0～10.0m未満の区域
■	3.0～5.0m未満の区域
■	0.5～3.0m未満の区域
■	0.5m未満の区域
- - -	市区町村境界
■	河川区域等
→	洪水浸水想定区域の対象となる河川



天竜川水系保谷沢川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

1. 説明文

- この図は、天竜川水系保谷沢川の県管理区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- この洪水浸水想定区域図は、指定時点の保谷沢川の河道形状や河道整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により保谷沢川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支派川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

2. 基本事項等

① 作成主体	長野県
② 指定年月日	令和8年3月19日
③ 指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
④ 対象となる河川	天竜川水系保谷沢川 (実施区間) 保谷沢川 左岸: 伊那市東春近字鈴の入6194番地先から天竜川への合流点まで 右岸: 伊那市東春近字東沢5996番地先から天竜川への合流点まで
⑤ 指定の前提となる降雨	保谷沢川流域に24時間で836mmの降雨を想定
⑥ 関係市町村	伊那市、駒ヶ根市
⑦ その他の計算条件等	氾濫区域を5m格子(計算メッシュ)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs 387) 背景図は基礎地図情報を拡大して使用しているため、位置精度は基図に準じます。この地図は、伊那市発行の伊那市地形図2,500分の1を使用したものである。